



「給食の放射性物質検査について」

私事ですが、今月、わが子が2歳を迎えました。そろそろ幼稚園選びを始めようかと思う今日この頃園の給食事情が気になるところです。

先日、放射性物質の測定等を行なっている「環境衛生研究センター」（和歌山市砂山）を見学した際、小学校の給食については9月から測定を開始する旨を聞きました。県内8カ所の学校給食について、それぞれ冷凍保存しておいた給食一週間分をまとめてミキサーにかけます。（結果は県教育委員会HPに記載）しかしこの方法では、万が一汚染された食品があっても、子どもたちの口に入る前に防ぐことはできません。

例えば長野県松本市では、食材の納品時に簡易測定器で検査し、子どもたちが食べる前に一通り安全を確認しています。また、国の定める基準を鵜呑みにせず、学校給食には厳しい基準を設け、より安全な食材・調味料を仕入れる等の取り組みを行なっています。

保育園、幼稚園、小学校...成長期の子どもたちが毎日食べる給食。しかも食品の放射能汚染は、今後何十年も続くと言われていています。和歌山市の給食の放射性物質検査は始まったばかり。真に子どもたちの立場に立ち、次世代、その次の世代まで考えた体制作りを早急にしてほしいと思います。



Q. 800ホリのもの充電能力をもつといわれる電気がうなぎ。充電し続け、疲れてくるとどうするでしょう?

- A. 停電する
- B. 隣りのうなぎから充電する
- C. 省エネモードに切りかえる



(前号の答え)
C. 宇多田ヒカル